



SMART SURVIVOR PROJECT

スマートサプライ

必要な人に必要な支援を
必要な分だけ届けるシステム



スマートサプライのウェブサイト

「スマートサプライ」とは、東日本大震災の際に、3000か所以上の避難所・仮設住宅・個人避難宅エリアを世界中から継続的にサポートすることを可能とした、ふんばろう東日本支援プロジェクトの物資支援方法をバージョンアップさせた仕組みです。

現地で必要物資の聞き取りを行い、それをインターネット上のサイトに細かく掲載することで、遠方からでも、必要な人に必要な物を必要な分だけ届けることができます。必要な物や相手が明らかたため、特定の物資が過剰に集まることはなく、確実に役立っているという実感と手応えのある支援が可能となります。

支援の方法には右の3つのタイプがあります。

1 直送支援

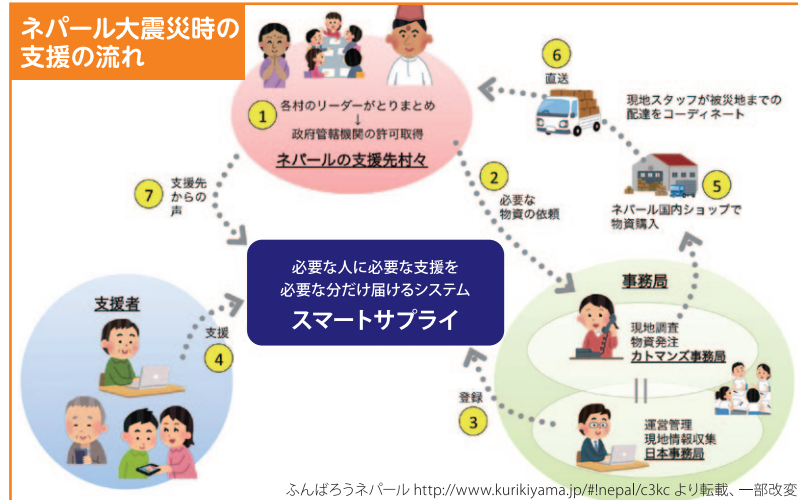
支援者が必要物資を入手し、自分で直接発送する方法です。自宅にある物や近所等で集めた物を送れるため、時間やネットワークがある方にぴったりの方法です。

2 Amazonほしい物リスト活用支援

オンライン通販サイトAmazonの「ほしい物リスト」というシステムを活用して物資支援を行う方法です。お勤めなどでまとまった時間の取れない方が、インターネットを通じて簡単に支援を行うことができます。

3 現地購入支援

支援者が必要物資をクレジットカード決済で購入する支援方法です。ネパール大震災時のように現地までの物流がない場合も、輸送手段や、運送を担う現地の人々の雇用費用をカード決済で支援することが可能です。また基本的に必要物資は現地のお店で購入するため、現地の経済も循環させることができます。



ふんばろうネパール http://www.kurikiyama.jp/#nepal/c3kc より転載、一部改変

ユーザーの声

「1クリックで被災地の方とつながり、少しでも役に立つことができ、私もうれしいです」
支援者
40代女性

「物資リストを一か所で管理できるので、支援者の方は様々な場所を探索せずとも支援先を選べます。短期間で支援が集まったのもありがたかったです」
支援団体
JDSO災害支援ネットワーク

「いろいろ支援をしてくれる世界の団体があるのは知っているが、こうやって『誰が』『何を』届けてくれるのかわかるのはうれしい」
支援された方
タリカ村村長

スマートサプライ活用実績

2015年5月以降、関東・東北豪雨災害支援、ネパール大震災支援、東日本大震災被災地・避難者支援（主に福島や他県に避難した方々が集う自治会、サロンの支援）で45か所の支援先に約14,000点の支援を実現（2016年2月15日時点）

通常のクラウドファンディングなどでは、ファンディングされた資金の15%程度がサイト運営側に支払われる仕組みになっていますが、スマートサプライでは全額そのまま現地の支援に使われます。

QRコードとスマートサプライで支援するには
WEBサイト <http://smart-supply.org>



左から、支援を依頼したティストゥン村の校長先生、「ふんばろうネパール」カトマンズ事務局長のTika氏、代表の登山家・栗城史多氏（2015年5月22日）



支援されたトタン板を運び出すティストゥン村の住民（2015年5月22日）



ジリ村で毛布100枚を届けた時の様子（2015年6月23日）

For Girl's Happiness

今後は災害時の緊急支援に限らず、意義あるプロジェクトも継続的に応援していきます。そうした試みとして、震災後、ネパールで急増している人身売買の被害から女の子を守るシェルター設立プロジェクト「For Girl's Happiness」の支援を始めました。皆様のご協力で、レスキューされた60名の女性が365日安心して暮らせるシェルターが設立中です。



スマートサバイバープロジェクト